

## 天溪 2015年「花のスイス・アルプスハイキング 9日間」

6月18日発 初回

天溪の海外ハイキング入門編「花のスイス・アルプスハイキング 9日間」が6月18日～6月26日 並びに 6月26日～7月4日の2回 続けて行われました。今年の6月は暖かい日が続いたのかアルプス三名花のアルペンローゼ(ツツジ科)がこの時期にしては近年稀なほど見ごとに斜面を赤く染め、三名花のゲンチアナ(リンドウ科)、アネモネ、翁草、キンポウゲ科の花々なども美しく咲き、私達の目を楽しませてくれました。下の写真はツェルマツ市街から写した朝焼けのマッターホルン。日本人観光客で溢れる教会横の橋上から少し外れると美しく撮れる所が有るものです。



(マッターホルン 6月24日)

### ○グリンデルワルド

アルプス初日はグリンデルワルド村の左上部を歩くお気楽コース。ロープウェーでフィルスツに上がり、そこからバツファアルプゼーまで往復、その後グーローズシャイディグへ向けアイガーほかベルナーオーバーランドの山々を望みながらフラワーウォッチング。このコースは毎年お花畑が綺麗で、特に今年は白、赤、黄、紫、色とりどりに花密度が濃く感動モノでした。



(アルペンローゼ 6月19日)





### ○メンリッヘン

天気予報は何故かこの日だけエアポケットの様に曇り時々雨の悪天予想。案の定登山電車で向ったユングフラウヨッホは雪、アイガーグレッシャーへ下ってからも時折雪が舞う寒い一日に。稜線の景色はさておき近場へ目を移すと少し凍えたお花畑が綺麗に広がっていました。



(メンリッヘンより 6月21日)

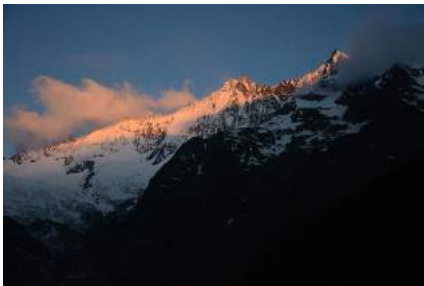


### ○サースフェー

カンドルシュテークからカートレインに乗り長いトンネルを貫けてバリス州に入ると天気は一変、良くある話で快晴に。ここは太陽の国イタリアに近いせいでしょか？ 翌日は朝から雲一つ無いご機嫌な天気。今年はシュピールボーデンのロープウェイが運休しマーモット達に合う事が出来ませんでした。皆様はミッテルアラリンへ登り氷河の上を楽しみました。尚、筆者は時間をいただき燕山荘とほぼ年代に建てられたブリタニアロッジまでぶらりと雪上ハイキングへ。



(サースフェー 6月22日)



### ○ツェルマット

天気予報によれば今日から暫くアルプスは真夏モードのはずでしたがツェルマットへ入ると何故かマッターホルンは薄曇り。聞けば明朝前線が通過し天気は下り坂とか。そんなことも有ってかディナーはイタリアン・シーフード風で結構いけました。翌朝は案の定雨降り朝日に赤く染まるマッターホルンはお預けでしたが、意外に早く回復し、マッターホルントレイルをおきな草の群生に見送られハイキングを続けました。



(翁草 6月22日)



(マッターホルン北壁 6月22日)

### ○シャモニ

早朝 5:35 分 真っ赤に染まるマッターホルンの朝焼け(表題写真) をカメラに収め、今日はシャモニへ。雲一つない快晴のエギュードミディからモンブラン、グランドジョラス、マッターホルンなどを眺め、2015 年前半のスイス・アルプスハイキングを締めくくりました。



(エギュードミディ展望台 6月24日)



(モンブラン 6月24日)

次回は 6月26日 発 2回目 「花のスイス・アルプスハイキング 9日間」の様子をお伝えします。

追記 残る三名花はエーデルワイス。この花は遅咲きで7月中旬見ごろになります。ただし、この地域では天然物は中々見つかりません。あしからず。